

ガーデンシティふかや推進室[ふかや緑の王国・深谷市榎引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551
花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

第20回 ふかや花フェスタ & オープンガーデンフェスタ

4/29 祝 30日

午前9時～午後4時 (30日は午後3時まで)
会場 深谷テラスパークほか (深谷市黒田41)

今年42軒のお庭がオープン

会場では、各団体によるダンスパフォーマンスなどのステージイベント、コンテスト参加作品の展示、花の装飾や飲食・物販などの多数の出店により、皆様のご来場をお待ちしています。また、期間中はオープンガーデンや商店街など、市内各地を巡るスタンブラーも実施予定ですので、ぜひご参加ください。

花フェスタガーデニング教室参加者募集!【定員:各20人 申し込み:4月10日付から電話でふかや緑の王国へ】

【4月29日(祝)

- ①籐籠を使った寄せ植え教室 (講師=日本ハンギングバスケット協会埼玉支部)
とき・参加料 午前10時～11時・2,500円
- ②多肉植物のリース (講師=ラ・パンセ(グリーンアドバイザー))
とき・参加料 午前11時30分～午後0時30分・2,000円
- ③寄せ植えリース教室 (講師=日本ハンギングバスケット協会埼玉支部)
とき・参加料 午後1時～2時30分・3,000円
- ④ドライフラワーになるスワッグ作り (講師=本庄恵美氏(園芸装飾技能士))
とき・参加料 午後3時～4時・2,000円

【4月30日(日)

- ①初夏の草花を使った寄せ植え教室 (講師=星野学氏(テクノ・ホルティ園芸専門学校講師))
とき・参加料 午前10時～11時・2,000円
- ②春のハンギングバスケット教室 (講師=日本ハンギングバスケット協会埼玉支部)
とき・参加料 午後1時～3時・3,500円



公共交通機関の利用にご協力ください

当日は会場周辺道路の混雑が予想されます。またメイン会場駐車場には限りがあるため、ご来場の際は電車・バスのご利用をお願いします。

臨時駐車場のご案内

三菱電機ホーム機器株のご協力により、秩父鉄道小前田駅北側に臨時駐車場を設けています。会場へは秩父鉄道をご利用ください。
秩父鉄道運賃=小前田駅～ふかや花園駅間片道170円(子ども90円)、所要時間=3分



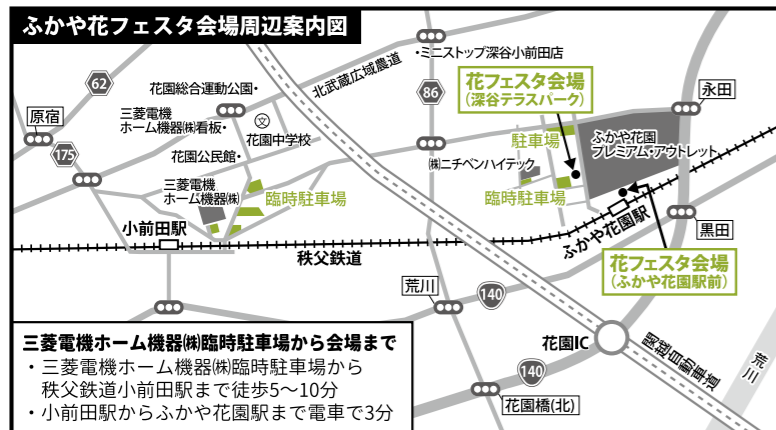
▲秩父鉄道小前田駅時刻表

バスのご案内

JR高崎線深谷駅南口から「ふかや花園プレミアム・アウトレット」行きのバスが運行しています。(土・日曜日、祝日のみ)
運賃=片道400円(子ども200円)、所要時間=約25分



▲バス時刻表ホームページ



三菱電機ホーム機器株臨時駐車場から会場まで
・三菱電機ホーム機器株臨時駐車場から秩父鉄道小前田駅まで徒歩5～10分
・小前田駅からふかや花園駅まで電車で3分

「深谷オープンガーデンブック2019」販売中!

オープンガーデンめぐりには、各ガーデンの写真が掲載されたオープンガーデンブックをぜひご利用ください。(次回は令和6年4月に発行予定)

料金 1冊500円
販売場所 ふかや緑の王国(通年)、花フェスタ会場、オープンガーデン臨時案内所(深谷市役所内)
※花フェスタ会場およびオープンガーデン臨時案内所は、花フェスタ開催期間中のみ販売。

問い合わせ 深谷オープンガーデン花仲間・栗原さん ☎090-7183-3481



王国からのお知らせ!

暖かくなり、お出かけ日和になってきました。春のふかや緑の王国へぜひお越しください。



ボランティア団体を紹介しします

深谷点訳ボランティアの会

深谷点訳ボランティアの会は、昭和50年に発足し、現在会員11人で活動しています。新型コロナウイルスによる感染の拡大のため2年ほど活動を休止していましたが、感染防止の観点から従来の一連の作業を見直し、密にならないように配慮して、昨年の夏から市の広報の点訳を再開しました。

点字は用紙に形成された凸部(写真1)を触って読むことで文字・文章を理解できます。発足当初は、点字器を用いて1点、1点、手で凸部を形成していましたが、現在はほとんどの場合、パソコンと点字印刷機を用いて点訳を行っています(写真2)。

深谷点訳ボランティアの会では、広報のほかに依頼された書籍の点訳も行っています。最近では、音声による情報入手が多い傾向にあるようですが、点字にはほかに無い独特の良さがあると言われていいます。今後も、点字ならではの良さを伝えられるよう、会員一同一生懸命点訳に取り組んでまいりますので、ぜひ点字・点訳に興味があるかたは、一度見学にお越しください。実際の活動の様子が見られる見学会も予定しているため、皆さまの参加をお待ちしています。

障害福祉課 ☎571-1011、FAX 574-6667、市社会福祉協議会 ☎573-6563、FAX 573-0806

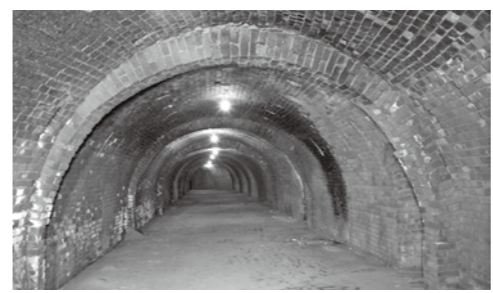


▲写真1 点字の凸部が形成されている「点字版広報ふかや」



▲写真2 点訳の作業風景

新紙幣 あれこれ



▲写真① 旧煉瓦製造施設
近代的な官庁街や鉄道などの整備を推進していた政府の意向で、明治21年に操業を開始。製造された煉瓦は、東京駅丸の内本屋や旧東宮御所(現迎賓館赤坂離宮)などに使用されています。



▲写真② 渋沢栄一が新紙幣の1万円札の肖像に決定したことを祝して行われた万歳の様子

『渋沢栄一』が新紙幣に決まった日
平成31年4月9日、新しい日本銀行券を2024年度上期を目途に発行開始することが財務省から公表されました。新1万円札の表面の肖像は郷

士の偉人「渋沢栄一」、裏面は深谷産煉瓦(写真①)も使用されている東京駅(丸の内駅舎)と、どちらも渋沢栄一そして深谷と関わり深いデザインが採用されています。
発表当日は多数のメディアが深谷に押し寄せ、急ぎよ、その日の夕方に八基公民館で記者会見を開くことになりました。渋沢栄一の顕彰に関わった関係者の皆さんへの周知は非常に短時間であったにもかかわらず、多くのかたが集まり口々に喜びの声を上げました(写真②)。